

津川・鹿瀬地区

(新潟県阿賀町)

- 計 画 期 間 平成 26 年度～令和 2 年度
- 面 積 806.0ha
- 交付対象事業費 339.5百万円
- 町人口 10,247人

ポイント

阿賀野川等自然環境に合わせた観光交流施設の整備と自然観光資源の活用

地区概要

町の中心を流れる阿賀野川を活用したまちづくり活動等の推奨とそれに必要な公園等の整備及び町の花である「雪椿」の活用に向けた取り組みを図る

目 標

- ・日本有数の大河「阿賀野川」や町のシンボルである「麒麟山」などの自然観光資源を活用した交流や誘客支援の推進により経済力のある町づくりを推進する。
- ・地域固有の資源である「雪椿」利用・保全を図り、環境に優しく自然と調和した地域産業の振興を推進する。

は

指 標

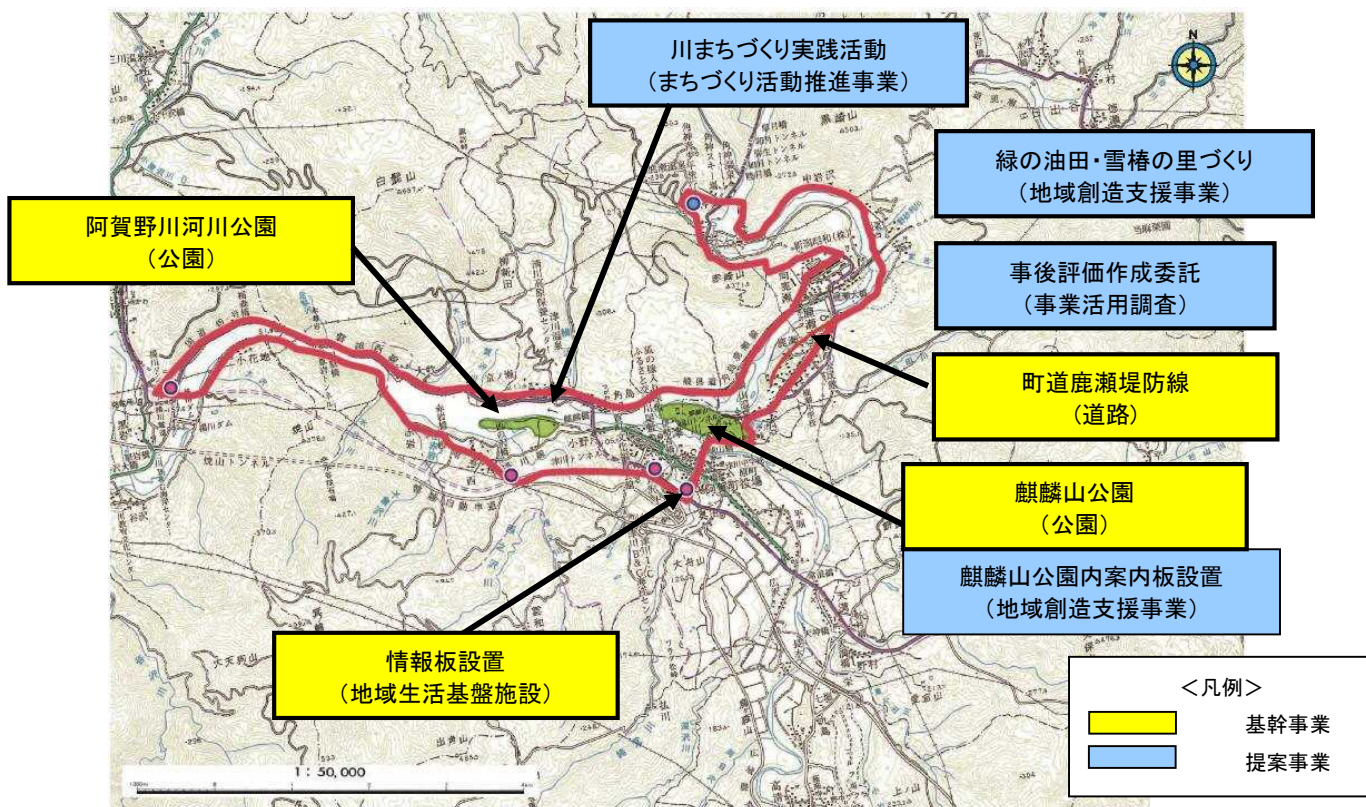
阿賀野川でのレクリエーションへの交流人口
と地区内における観光客数を指標とした。

阿賀野川でのレクリエーションの参加人口	5,800 (H24)	→	7,300 (R1)
地区内観光客数	179,835 (H24)	→	180,000 (R1)

事業内容

基幹事業 (318.3百万円) → 道路 (幅員 4.0m、延長 77m)、公園 (2カ所)、情報板 (1基)

提案事業 (21.2百万円) → 緑の油田・雪椿の里づくり、川まちづくり実践活動、麒麟山公園案内案内板設置



地区の現況と課題

当地区は、町の中央を流れる阿賀野川沿いに集落が点在し町を形成している地区であり、周囲は、飯豊連峰や飯豊山などの山々に囲まれ、阿賀野川やその支流及び山々の景観により風光明媚な風景を有している。

その景観や雄大な自然からの恵みである農産物等の観光資源を活用し、観光誘客を図ってきた。

しかしながら、自然景観を満喫できる公園等の観光施設はあるが、施設の老朽化や観光客のニーズの変化に伴い、観光資源としてより親しみやすい空間づくりをする必要があり、観光客や地域住民が楽しみ、地域内の施設の周遊を図り、津川・鹿瀬地区を存分に満喫できる景観整備、路網整備、施設整備が必要である。



阿賀野川での遊覧船試験運行

提案事業の特徴

緑の油田・雪椿の里づくり事業

産学官連携で新潟県の木と阿賀町の花の「雪椿」の利活用について検討し、その種子から取れるオイルを地域産物として利用している。その「雪椿」の保全・育成するための土壌改良及び雪椿の植生等を問う事業で実施することにより、特産品開発を含めたPRを進めていくことを目標とする。

川まちづくり実践活動事業

阿賀町の中央を流れる阿賀野川は、古くは舟運で賑わい、またその景観は、イギリス人旅行家イザベラ・バードが著書で廃墟の無いライン川と表した。

その川を利用した体験メニューの構築など諸団体と連携を図り、観光交流人口の増加を目指す。



町の花の雪椿の植栽会

計画策定プロセス

まちづくり等の活動団体との連携

町内には、ノルディックウォークやカヌーなどの体験や観光ガイドなど阿賀野川や麒麟山を中心に活動している団体があるが、自然観光資源を活用した交流や、観光交流人口拡大の為にそれぞれの団体と連携を図り、魅力ある川まちづくりを推進する。

また、新潟県の木であり、阿賀町の花である雪椿を産学官連携で、利用・保全方法を引き続き検討していく。



整備箇所（麒麟山公園）での
観光ボランティアガイドの活動状況